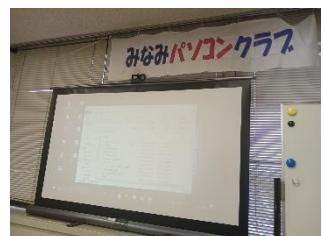


今年初めてのパソコン同好会

代表 34期 文化 宝南学区 原智恵子

令和8年1月6日(火)、今年初めてのパソコン同好会が実施されました。講師の松川健二先生は、お変わりなくお元気です。

この日は10名の参加でした。Wordで完成図を見て文書を作成する総合問題に取り組みました。結構難しかったです。



松川健二先生のつぶやき

還暦を過ぎ人生の終点が見えてきたこの歳になって、抱負は何も考えていません。パソコン同好会の皆さんをはじめ、多くの方との交流があり、楽しくお喋りが出来る事を幸せに感じています。これも丈夫に育てくれた両親に感謝です。年齢とともに体力の衰えは感じていますが、自分の足で歩き、好きなところへ出かけ、好きな食事が気ままにできる幸せを何時も感謝しています。これからもお世話になること多々あるかとは思いますが、何卒よろしくお願い致します。



松川先生（前列右）と会員メンバー

今年のこなみ会の「趣味の作品展」は10月下旬に実施されます。

そこで、パソコン同好会も昨年同様作品展に出展させていただく方向で進めていきます。そのためには準備が必要ですので、会員の皆さんに心がけていただくようお願いしました。

中には、「あまりプレッシャーをかけないで！」とか「縛らないでほしい」などの意見もありましたが、松川先生が「とにかくパソコンを使って取り組んでください。取り掛かることが大切ですよ。」とのありがたいお話をありました。皆さんも納得されたような？感じでした。さてどのような作品がみられるのか楽しみです。

パソコン面白話

世界初のコンピュータ「ENIAC」は巨大だった！

1946年にアメリカで開発された最初期の電子コンピュータ「ENIAC」（エニアック）は、大砲の弾道計算のために作られました。その大きさはなんと 165 平方メートル（約 50 坪）重さ 30 トンもあり、1 万 8800 本の真空管を使用していました。まるで倉庫のようです。人間の数千倍の速度で計算が可能だったそうですよ。

1942年、1943年頃も特定の目的のコンピュータがあったそうですが、実用的ではなかったという話です。